



## 著者・翻訳者プロフィール

著者	同志社コリア研究センター
雑誌名	同志社コリア研究叢書
巻	3
ページ	313-316
発行年	2017-03-24
権利	同志社コリア研究センター
URL	<a href="http://doi.org/10.14988/re.2017.0000016109">http://doi.org/10.14988/re.2017.0000016109</a>



Doshisha University Academic Repository

同志社大学学術リポジトリ

## 著者・翻訳者プロフィール

著者	同志社コリア研究センター
雑誌名	同志社コリア研究叢書
巻	3
ページ	313-316
発行年	2017-03-24
権利	同志社コリア研究センター
URL	<a href="http://doi.org/10.14988/re.2017.0000016109">http://doi.org/10.14988/re.2017.0000016109</a>

## 著者・翻訳者プロフィール

### ◎著者

#### 板垣 竜太 (いたがきりゅうた) (はじめに、第3章)

同志社大学社会学部 教授。専門は朝鮮近現代社会史・文化人類学。

単著として『朝鮮近代の歴史民族誌—慶北尚州の植民地経験』(明石書店、2008年)があり、鄭炳旭との共編著として『日記が語る近代：韓国・日本・ドイツの共同研究』(同志社コリア研究センター、2014年)、『식민지라는 물음 (植民地という問い)』(소명출판、2014)がある。

#### 鄭 炳旭 (チョンピョンウク、정병욱) (はじめに)

韓国・高麗大学校民族文化研究院 HK 教授。専門は韓国近代史。

主な論著として「식민지 조선의 반중국인 폭동과 도시 하층민」(『역사와 담론』73、2015.1)、『식민지 불온열전: 미친 생각이 뱃속에서 나온다』(역사비평사、2013)、板垣竜太との共編著として『日記が語る近代：韓国・日本・ドイツの共同研究』(同志社コリア研究センター、2014年)等がある。

#### 駒込 武 (こまごめ たけし) (第1章)

京都大学大学院教育学研究科 教授。専門は台湾近現代史・植民地教育史。

単著に『世界史のなかの台湾植民地支配—台南長老教中学校からの視座』(岩波書店、2015年)、共著に『内海忠司日記—帝国日本の官僚と植民地台湾』(京都大学学術出版会、2012年)、『戦時下学問の統制と動員』(東京大学出版会、2011年)等がある。

## 太田 修 (おおた おさむ) (第2章)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 教授。専門は朝鮮現代史・近現代日朝関係史。

主な論著に『(新装新版) 日韓交渉—請求権問題の研究』(クレイン、2015年)、「朝鮮解放直後におけるある労働者の日常—仁川の電気工I氏の日記から」『同志社コリア研究叢書1 日記が語る近代：韓国・日本・ドイツの共同研究』(同志社コリア研究センター、2014年)、「戦時期大邱の朝鮮人女子学生の学校生活—1937年の日記から」『植民地朝鮮の日常を問う』(思文閣出版、2012年)等がある。

## 廉 仁鎬 (ヨム イノ、염인호) (第4章)

韓国・ソウル市立大学校国史学科 教授。専門は韓国現代史。

単著として『또 하나의 한국전쟁：만주 조선인의 '조국' 과 전쟁』(역사비평사、2010)、『조선의용군의 독립운동』(나남출판、2001)、『김원봉연구』(창작과 비평사、1993)がある。

## 李 松順 (イソンスン、이송순) (第5章)

韓国・高麗大学校韓国史研究所 研究教授。専門は韓国近代史(社会経済生活史)。

主な論著として『한국철도, 추억과 희망의 레일로드』(선인、2016)、『日帝下 戦時農業政策과 農村經濟』(선인、2008)、「일제하 1920~30년대 여성 직업의 지역별 분포와 존재양태」(『韓國史學報』65、2016.11)、「도쿄 (東京) 제국대학 농대와 1910년대 조선총독부 농업고등기술관료 그룹의 형성」(『韓國人物史研究』25、2016.3)等がある。

## 安 勝澤 (アンステンテク、안승택) (第6章)

韓国・ソウル大学校奎章閣韓國学研究院 HK 研究教授。専門は歴史人類学。

主な論著として『식민지 조선의 근대농법과 재래농법』(신구문화사、2009)、「18・19세기 농서(農書)에 나타난 경험적 지식의 의미 변화와 분화」(『韓國思想史學』49、2015.4)、「한 현대농촌일기에 나타난 촌락사회의 계(契)형성과 공동체 원리」(『농촌사회』(24(1)、2014.1)等がある。

### 李成浩 (イソンホ、이성호) (第6章)

韓国・全北大学校 SSK 個人記録研究団 専任研究員。専門は地域社会学。

主な論著として「반공국가 형성과 지역사회의 변화 - 『월파유고 (月波遺稿)』의 한국전쟁기 기록을 중심으로-」(『지역사회연구』21(1), 2013.3)、共著として「1970~80년대 농촌사회의 금전거래와 신용체계의 변화: 『창평일기』를 중심으로」(『비교문화연구』22(1)、2016.1)、『전북지역 민주노조운동과 노동자의 일상』(한울、2009) 等がある。

### 金成妍 (キムソンヨン、김성연) (第7章)

韓国・延世大学校国学研究院比較社会文化研究所 専門研究員。専門は近現代韓国文学。

単著に『서사의 요철 (凹凸): 기독교와 과학이라는 근대의 지식-담론』(소명출판、2017)、『영웅에서 위인으로: 번역 위인전기 전집의 기원』(소명출판、2013)、共著に『한국의 근대성과 기독교의 문화정치』(혜안、2016) 等がある。

### ◎翻訳者

### 呉仁済 (オインジェ、오인제) (第4章担当)

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 博士後期課程。大谷大学非常勤講師(朝鮮語)。専門は朝鮮近現代史・在日朝鮮人史。

主な論文として「高暮ダムの歴史再読—戦前・戦中・解放後の広島における在日朝鮮人史の交錯」(『在日朝鮮人史研究』46、2016.10) 等がある。

### 原佑介 (はら ゆうすけ) (第5章担当)

立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員。専門は比較文学。

主な論著として「害虫たちのジェノサイド、益虫たちのユートピア」(『生存学』9、2016.3)、『引揚者』文学から世界植民者文学へ: 小林勝、アルベール・カミュ、植民地喪失」(『立命館言語文化研究』24(4)、2013.3)、共著として、「戦後文学の『夜の声』: 朝鮮戦争と戦後日本の誕生」(西川長夫ほか編著『戦後史再考: 「歴史の裂け目」をとらえる』平凡社、2014年) 等がある。

**安田 昌史**（やすだ まさし） （第6章担当）

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 博士後期課程。専門は在日朝鮮人の労働・経済活動・生活史。

主な論文として「西陣織産業における在日朝鮮人—労働と民族的アイデンティティを中心に—」（『同志社グローバル・スタディーズ』6、2015.3）、「戦後京友禅産業における朝鮮人労働者—蒸・水洗工場 M を事例として」（『朝鮮史研究会論文集』52、2014.10）等がある。

**西村 直登**（にしむら なおと） （第7章担当）

同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科 博士後期課程。桃山学院大学非常勤講師（近現代日朝・日韓関係史）。専門は朝鮮近代史・近現代日朝関係史。

主な論文として「関東大震災下における朝鮮人の帰還」（『社会科学』47(1)、2017.5 刊行予定）等がある。